

セキュリティソフトにおけるデキスパートの除外設定

[Microsoft Security Essentials の場合]

※この資料は 2013/12/05 時点での最新バージョンの Microsoft Security Essential の画面を元に作成しております。

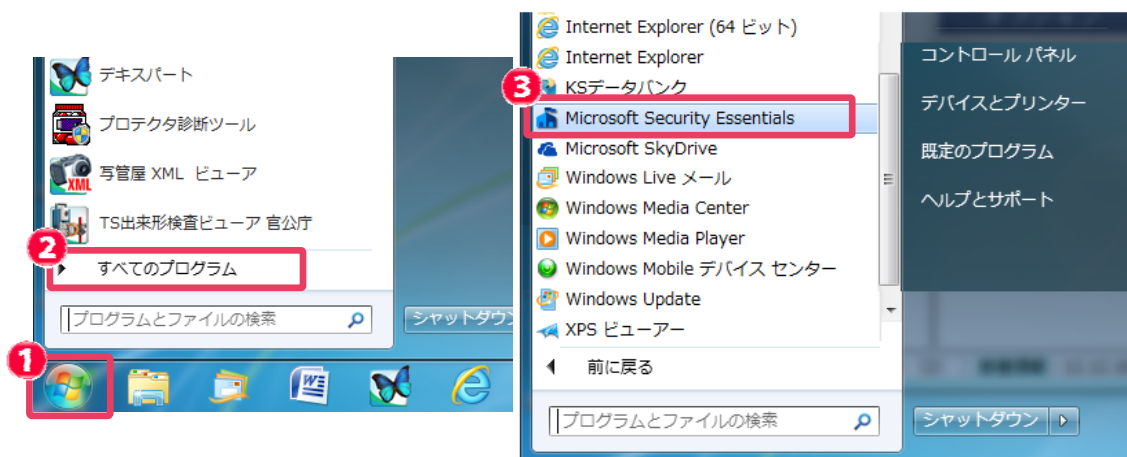
バージョンが異なる場合は、レイアウトやボタンの配置、操作方法が異なる可能性があります。

参考資料として捉えていただき、詳細な手順が不明な場合は、各セキュリティソフトメーカーへお問い合わせください。

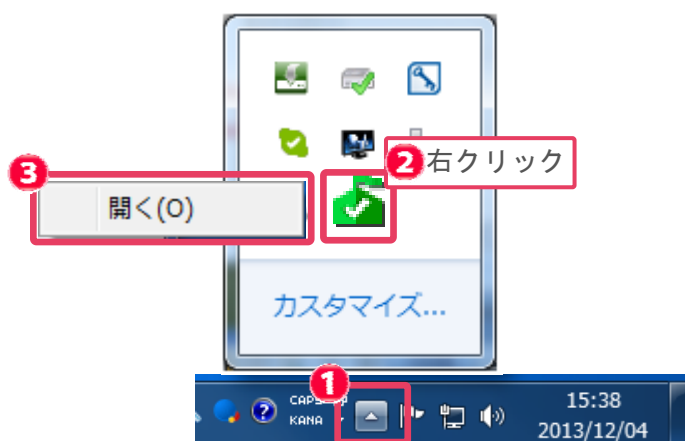
※本文で登場するシステム名、製品名は、一般の各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

<トラブル対処> 「Microsoft Security Essentials」の除外設定について

1. スタートメニューから「すべてのプログラム」→ [Microsoft Security Essentials] を起動します。



補足：デスクトップ画面右下のタスクトレイのアイコンー右クリックからも起動できます。

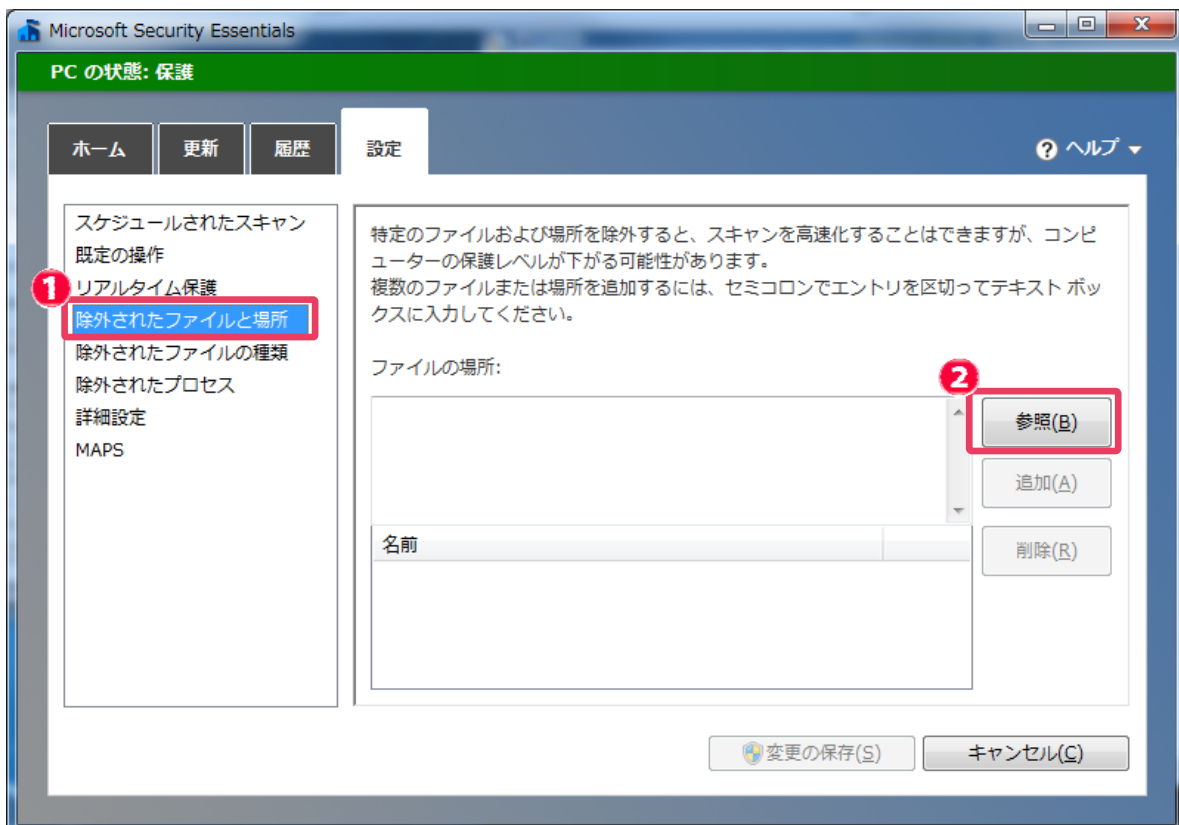


2. Microsoft Security Essentials のメイン画面が表示されます。

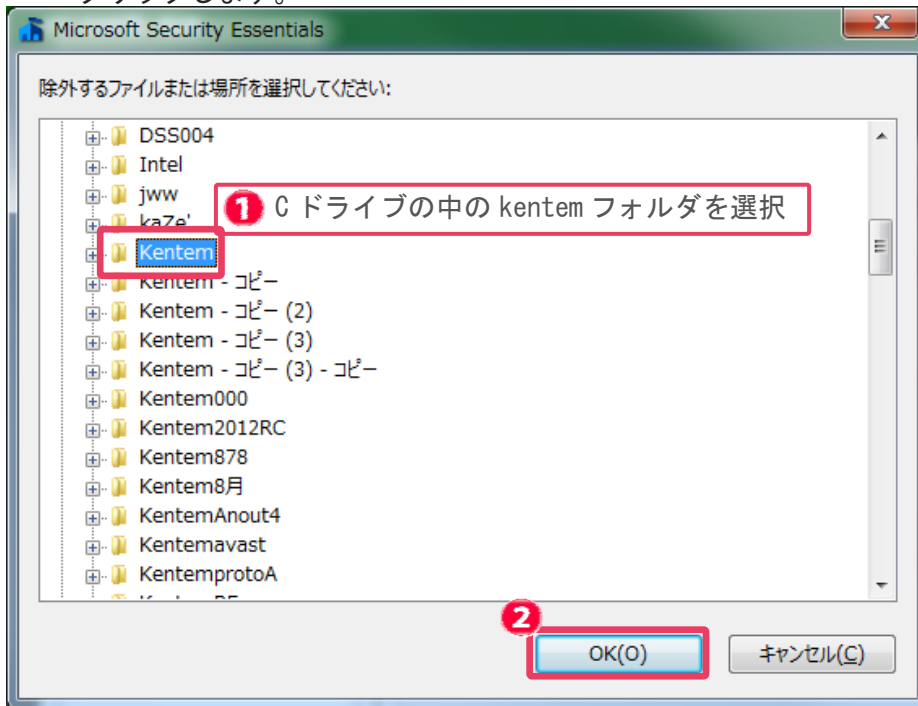
[設定] をクリックします。



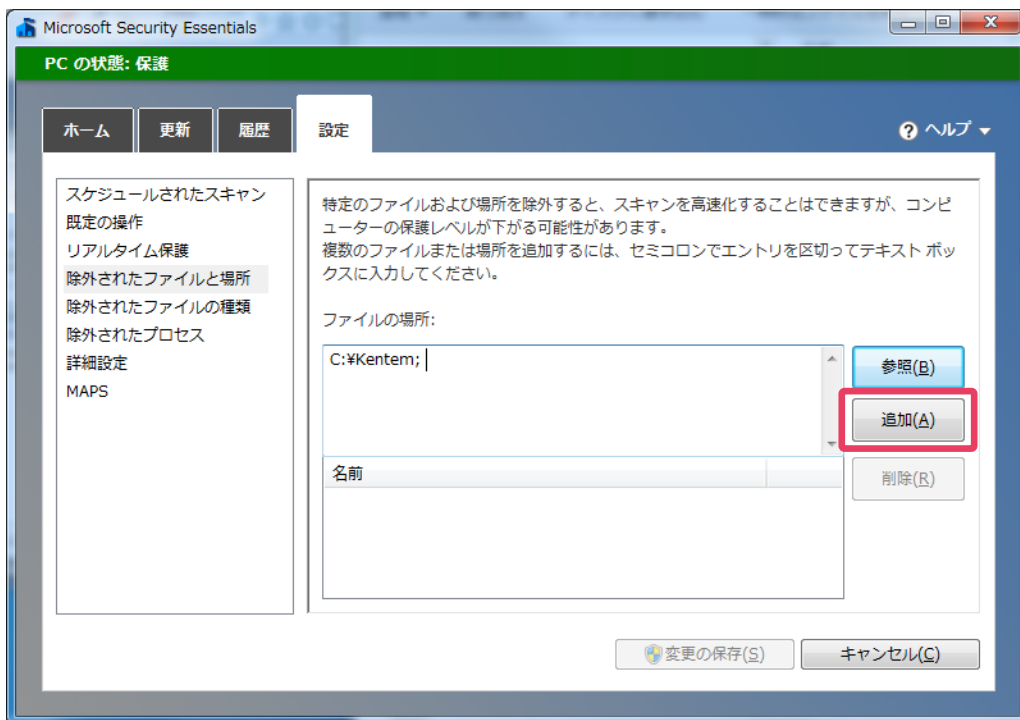
3. [除外されたファイルと場所] → [参照] をクリックします。



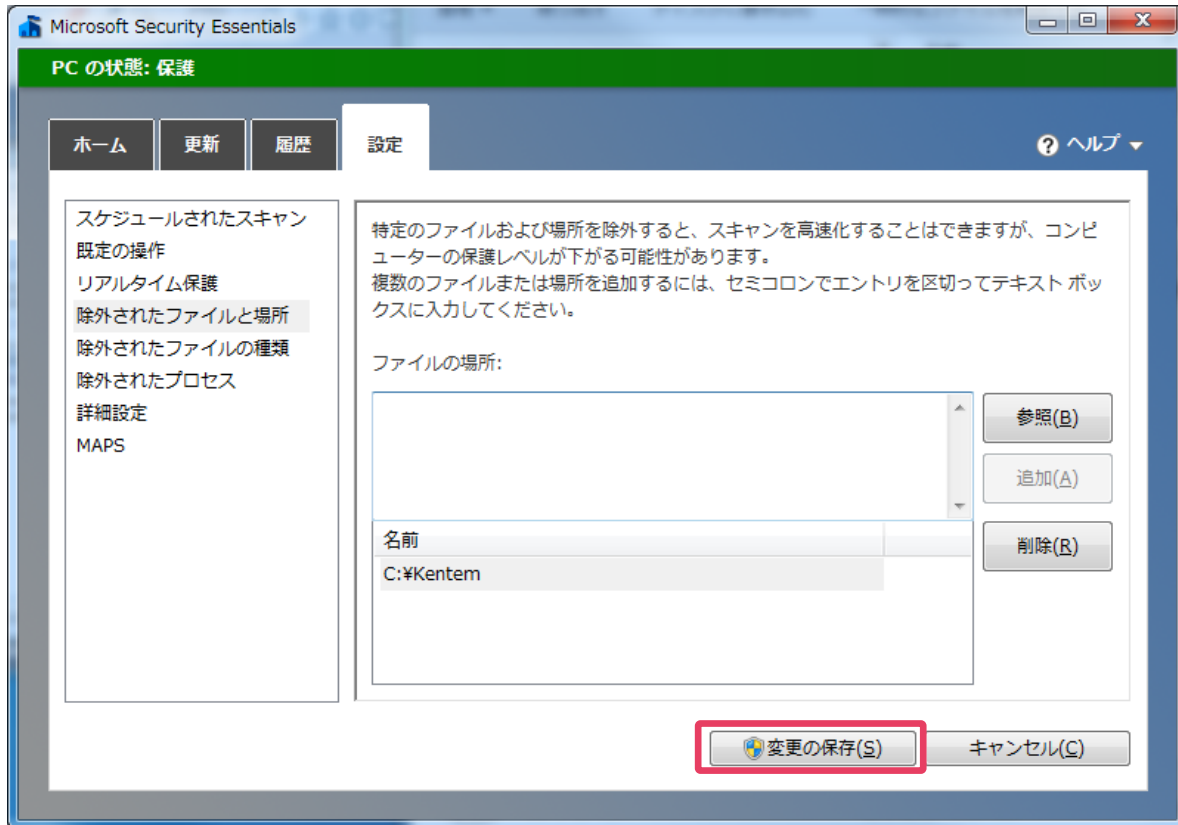
4. デキスパートのインストールフォルダ（初期値は C:\%kentem%フォルダ）を選択し、[OK] をクリックします。



5. [追加] をクリックします。



6. [変更の保存] をクリックし、設定内容を保存します。



7. 以上で Microsoft Security Essentials における除外設定は完了です。